

## 花さんの死に思

## -は

新野雄彦

うでした。

手に入れることが目的であるかのよ や感染を防ぐことよりも、マスクを ます。例えば、マスクを求めてわざ き彫りになった日々だったように思い すが、それ以上に人の心の弱さが浮 した。ウイルス自体の脅威もありま

コロナ禍に、世界中が翻弄されま

わざ密集の行列に並ぶ人たち。もは

初めての体験の中で、ストレスが思 せん。緊急事態宣言下という誰もが では、歪んだ義憤と言わざるを得ま どもたちにまで嫌がらせをするよう います。 わぬ方向に行ってしまった例だと思 そして、自粛警察。公園で遊ぶ子

た事件でした。 NS上での誹謗中傷によって、女子 プロレスラー木村花さんが亡くなっ 中でも私が一番気になったのは、S

## 削除されていた 昔なら全て あの書き込み内容は、

でのインターネット普及以前に、電 35年ほど時を戻します。まだ日本

> 子会議室や、掲示板などができるパ が利用できたことです。 ソコン通信というサービスがありま した。現在と異なるのは、

ウイルスよりも怖い

いくつかの現象

Sのような内容なら、その場で削除 場合は注意を行い、文を削除するこ ですし、サービス提供会社が利用停 の円満化と円滑化です。書き込まれ 務内容は、もっぱら会員同士の会話 ペレーターを任されていました。職 止にしていたと思います。 ともありました。木村花さんのSN かどうかを見て、不適切と判断した た文が、見る者に不快感を与えない 私はあるサービスで、システムオ

ら匿名性が低かったですし、当時は まだネット上のエチケットである「ネ たことはありません。会員制ですか ただ、そこまでひどいものに出会っ

## ある程度の規制は 必要だと思う

はないでしょうか。

る「表現の自由」も、

誹謗中傷の無

い範囲で行う「自由」で十分なので

しいメディアに潜む危険性について ようになりました。けれど、この新 りつつあります。インターネットとス かつ容易に自由な書き込みが行える マートフォンを使って、誰もが簡単 そして現在、この言葉も死語にな

会員だけ 十分な対策が取れているとは言えま ことなので、ここまで遅れてしまっ せん。見えないところで起きている

たのです。

それで、今回のような事件が起き

禁じ得ません。

肉体的な傷以上に、心の傷が致命

なるまでの心の痛みを思うと、涙を てしまいました。木村花さんが亡く

チケット」が重要視されていました。

は必要です。そうすれば、家庭でも なります。 にもなりやすく、いじめの温床にも 葉の暴力をふるってしまい、加害者 的であるケースは多いでしょう。ま た現状は、その場の感情に任せて言 やはり、ある程度の透明性と罰則

学校でも「情報マナー」を教えやす くなるでしょう。 こうした規制の話になると出てく

感じます。 れがごく普通に行われることを追求 える運動です。ネット社会でも、そ す。「小さな親切」はそれを人々に伝 作らずとも、防げることでもありま る気持ちが備わっていれば、規則を しなければならない時代になったと 一方で、一人ひとりに他人を思いや